

算 数

○成果があった点 ●課題がある点

数と計算

基本的な計算については、計算ドリルや計算スキルなどで反復練習を行い当該学年の計算を定着することができているかと思われる。しかし、計算は比較的よくできているものの、計算の法則に関する問題を苦手としている。中でも、減法や除法の性質を使って計算をより簡単にすることに課題が見られた。このような計算の法則は、単に交換法則や結合法則と覚えさせるのではなく、実際の計算の場面で活用しながら、その良さに気づかせることができるよう、指導の工夫をする必要がある。

○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。

○比較量が基準量の何倍になっているかの計算をすることができる。

●減法の性質を基にして、除法に関して成り立つ性質を記述できる。

●複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。

量と測定

基本的な求積はできているが、既習の求積公式を活用し、同時に図形の合成や分解などの構成についての見方を働かせながら、その求め方について説明することを苦手としている。単に面積の公式を覚えるだけでなく、演算の意味を図形と関連させながら説明する力を養う必要がある。

また、場面の状況を解釈し、得られた結果から判断することを苦手としている児童も多い。そのため、日頃の授業でも振り返りを充実させ、授業の感想を書くだけでなく、解決過程や判断したことをより改善するにはどうすればよかったのかなど、内容の充実が必要である。

●図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。

●資料の特徴や傾向を関連付けて判断し、その理由を記述できる。

図形

図形の構成要素や性質が理解できているため、よくできているように思われる。図形を判断したり、事柄が成り立ったことを論理的に考察したり、数学的に表現したりする場合は、観察、操作、実験など具体物を使った数学的活動を授業に取り入れ、筋道を立て、事柄が成立することを説明できる力をつける必要がある。

○台形について理解している。

○円周率の意味について理解している。

数量関係

このような倍や割合に関する問題は、苦手とする児童が多いように思われるが、日頃から問題文を図に表すことに慣れているため、示された情報や場面から基準量、比較量などを捉え、図に表し、図から立式することができているように思われる。しかし、それを記述で説明することを苦手としているため、普段の授業から自分の考えを順序だてて説明したり、自分の思考の過程をノートに記述したりするなどの練習が必要である。

○比較量が基準量の何倍になっているかを読み取ることができる。

○目的に適した、伴って変わる2つの数量を見出すことができる。

●資料の特徴や傾向を関連付けて、理由を記述することができる。

稲美町立天満東小学校 6 年生の学力調査結果

| | | |---|---| | 国 | 語 | |---|---|

○成果があった点 ●課題がある点

| | |-----------| | 話すこと・聞くこと | |-----------|

- インタビューの相手や目的に応じて、質問を工夫することはできる。
- 話し手の意図を捉えながら聞いて、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることは苦手としている。
- 話し手の意図を捉えながら聞いて、自分の考えをまとめることは苦手としている。

| | |------| | 書くこと | |------|

- 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫はできている。
- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして、まとめて書くことはできている。
- 目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書くことはできる。

| | |------| | 読むこと | |------|

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて、自分の考えを明確にしながら読むことができています。
- 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことはできている。

| | |----------------------| | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | |----------------------|

- ことわざの意味を理解し、適切に使うことができています。
- 学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。